

晴れた日には出かけよう！ ～まちのミリョクを再発見!!～

20 ほたるの舞う町



清流の妖精「ほたる」。日の出町の水辺にやさしく温かい光の群れが舞い踊ります。

♪ほたるの光、窓の雪、書読む月日、重ねつつ、何時しか年も、すぎの戸を、開けてぞ今朝は、別れ行く…♪
卒業式で歌われる唱歌『蛍の光』でもおなじみのほたる。この歌は、「ホタルを捕まえて明かりの代りにした」というものですが、今回は、やさしく愛らしく舞い踊るホタルの話です。



川面に舞うゲンジボタル

日の出町のホタルは、ゲンジボタルが多く、例年6月中旬ごろから飛翔が確認され、6月下旬には最盛期を迎えます。ホタルは、多く舞う条件に決まりがあって、場所は草木の茂った流れの穏やかな川治い。そして、蒸し暑い日の、辺りがうっすらと夕闇に包まれる午後7時ごろから8時ごろ。川治いの茂みから「ぼわっ…すーっ」と舞う、

美しい光景を見ることができます。

ゲンジボタルの成虫は、大きさ2cmほど。夜行性で、成虫の寿命は短く2週間ほどです。体色は全体に黒く、羽の付け根付近は濃い桃色。黒い十文字模様のアクセントがあります。発光器はおしりにあり、オスもメスも光ります。発光行動は、お互いの認識の役目と、オスとメスが出会い子孫を残していく求愛行動としての役目を果たしています。また、体格のわりに大きな目をしている事も特徴的です。



おしりの白っぽい部分が発光器

幼虫は流れの穏やかな川の中で暮らします。カワニナという淡水貝を食べて成長し、翌年の6月ごろには成虫となり夜空に舞い始めます。
♪ほ。ほ。ほーたるこい。こっちの水は甘いぞ。…♪
これはホタルが綺麗な水を好むことを唄うわらべ歌。それでは、どのくらい綺麗な水が好きなのでしょう。

ホタルは、川の最上流部のような澄みきった環境ではなく、多様な生き物がいる中流域に生息しています。栄養分の多い中流域には、幼虫のエサとなるカワニナが多く生息するため、そこを産卵場所として選んでいるのです。近年、町にホタルが帰ってきたのは、下水道完備による恩恵だと考えられます。川がかつての環境を取り戻

し、ホタルの生息にちょうど良い「甘さ」になってきているのではないのでしょうか。

せっかく戻ってきたホタルですから、みんなで大切にしたいものです。さてホタル鑑賞には、いくつかの注意点ががあります。

▼捕獲は絶対しないこと。▼地元の皆さんに迷惑になることは慎みましょう。▼無灯火での走行や路上駐車は、事故の恐れがあり大変危険ですのでやめましょう。▼鑑賞時は、照明でホタルを照らさなでください。※**ホタルの発光(求愛)行動に害を及ぼします**。他の地域では光害が原因で絶滅した例もありますのでご注意ください。

つるつる温泉に向かう平井川治い(細尾～松尾付近)は、ホタル鑑賞の人気スポットです。温泉でゆっくり温まったら夕涼みをかねて、家族で散歩してみたいはいかがでしょうか。鑑賞の際は、うちわと虫除けのを持っていくことをお勧めします。清流の妖精「ほたる」。日の出町の水辺にやさしく温かい光の群れが舞い踊ります。

..... アクセス



..... 日の出WALK (観光マップ)【H-6】～【F-4】

